

授業科目	子どもと表現				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11306J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP3-2			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	幼児の表現の世界に関心を持ち、身体の諸感覚を使って表現活動に取り組み、その面白さや重要性を体験して幼児の表現を受け止め発達を促すための感性を豊かにする。							
学生が達成すべき行動目標	領域「表現」の指導において幼児の表現の発達、それを促す要因を理解し、幼児の感性、想像力を育む表現遊びや環境の構成についての知識・技能・表現力を身につける。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	50	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			30	50			80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)					20		20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
幼児の表現の発達、それを促す要因について理解し、さらに自分で調べ学習をして詳細な説明ができる。またこれらを考慮した保育環境を考え、机上の学修に留めず実践する力につなげることができる。				幼児の表現の発達について理解し、表現の世界に関心をもってその重要性を生かした保育を考えることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション: 授業の概要・目的・達成のめやす評価の方法について			講義		幼稚園教育要領「表現」を精読する。		60

2	テーマ:発達に即した表現 表現が生まれる過程について学ぶ。	講義	幼児の年齢による発達段階の特徴をまとめる。	60
3	テーマ:環境と表現 生活や遊びの中の幼児の表現について学ぶ。	講義	安全性の面から表現の場の設定について考察する。	60
4	テーマ:身体の動きと表現 身体の諸感覚の発達を促す表現活動および、身の周りのものの特性を生かした表現について学ぶ。	講義	観察実習の記録などを参考に幼児の身の周りのものについてその特徴をまとめる	60
5	テーマ:幼児の表現の検証 幼児の素朴な表現を映像や具体例を見て検証し、表現を生み出す要因について学ぶ。	講義	表現を生み出す要因についてまとめる。	60
6	テーマ:地域の文化について 季節の行事、地域の文化について知り、表現活動に生かす方法を学ぶ。	講義	市民センターの広報誌、インターネットなどを使って、地域の文化について調べる	60
7	テーマ:保育士の役割 協働して表現するなかで、友だちの表現を受け止め豊かに発展させるための保育士の役割について学ぶ。	講義	保育士の言葉かけについて具体例を考え、ノートにまとめる。	60
8	テーマ:自然や生活に根ざした表現 様々な表現の知識を幼児の表現に生かすことについて理解しまとめる。	講義	講義内容を振り返り、自分自身の課題を見出す。	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	実習日誌の中で、表現に関する部分を読み返しておいてください。			
テキスト	「幼児の音楽表現」（末成妙子著 白峰社） 平成 29 年告知 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（原本） （株式会社チャイルド本社）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	提出物の期限は厳守してください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	ミニツツペーパーを毎回提出してもらいます。次の回の講義で返却し、共有する事項があれば受講者全員と共有します。 30 % レポート以外の提出物 20% 発表（口頭、プレゼンテーション） 50%			

